

# 八軒つうしん



## 巻頭言

### 誇りをさせて

会長 菅井 茂



東日本大震災から三年目の正月を過ぎ、被災地には漸く災害復

興住宅が建ち始め、少しずつではありますが復興を感じつつあります。被災された方々はまだまだ大変でしょうが、くじけず頑張ってください。さて、今年の正月二日、わたらの同窓生が頑張りました。それは、福原元校長先生が「私の八軒時代 第二集」に書かれました村山兄弟が、先生のご期待通り「箱根駅伝」で活躍したことです。われらが仲間（同窓生）村山兄弟は、兄は駒澤大学の、弟は城西大学のそれぞれエースとして共に二区を走りました。テレビでは出身高校名は出るのですが

残念ながら出身中学校名は出ないので、多くの方は八軒中学校出身とは気づかなかつたと思います。兄はトップに躍り出たのですが、その後足を痛め腿をはたきながら走り、トップを維持し三区にタスキを渡しました。彼の頑張りは、我々同窓生だけでなく八軒中学校の在校生にとっても誇りです。これからも兄弟しているいろいろな場面で活躍してほしいです。

ところで、私は、昨年総務省消防庁から「災害伝承の語り部」に任命され、東日本大震災時の「南材小学校と八軒中学校の避難所運営」について、各地で講演をしています。講演先はこれまで大きな災害に遭ったことがない市町村であの時の避難所運営について話すと、参加された皆さんは「これまで震災の様子はテレビで見えていたが、避難所運営という実際の体験を聞いたのは初めてなので、非常に参考になった」と仰ってくれました。実際災害が発生したとき、

公的援助や支援はすぐさま来ないので、自分たちで避難所を運営しなければならぬこととなります。そこで、地域が遭遇すると思われる災害を想定し避難所運営の訓練をしていくことが大切になってきます。また避難所を運営するに当たっては常日頃からの仲間の結びつきが重要な条件になります。更に地域住民と学校（教師・生徒）が協力していく素地ができていくことも必要です。我が南材地域はそこが出来ていたため、南材小



NHKでも放映された被災した方々をお招きしての音楽のつどい

学校でも八軒中学校でも避難所運営がうまくいったと思っています。また講演の中では当時の八軒中学生のボランティア活動や吹奏楽・合唱部の「明日という日」にもふれ、中学生の活躍が被災者の勇気づけにもなったことを話しています。これらのことは私たちの誇りです。

なお、同窓会会員の有志の方々に「私の八軒時代 第二集」に、大震災の体験を書いていたいただきました。その貴重な体験を多くの人に知ってほしいという思いと幾らかでも編集費の足しにしたいということから、各地に数冊ずつ持って行って分けてきましたので、ご了承ください。

## 平成二十五年度同窓会総会

## 二年間の活動を報告

平成二十五年六月二十九日、レオパレス仙台・イベントホールにおいて八軒中同窓会総会が開催されました。

来賓として、母校である八軒中学校から、小松尚哉校長先生、千葉伸治教頭先生、同窓会担当の渡邊貴之先生、菅原徹先生が出席されたほか、菅原敏彦前校長先生、前回に続いて、かつて在職された菅原昭二先生においでいただきました。

第一部は、安達和則事務局長の司会により進行しました。

菅井茂会長、小松校長先生のご挨拶、恩師のご紹介の後、菅井会長が議長となつて議事に入り、報告として、安達事務局長から活動報告、遠藤恭郎会計次長から会計決算報告、今野喜郎監事から監査報告、菅原敏之副会長から「生徒の生活環境を考える」委員会報告、佐藤徳子副会長から「私の八軒時代」編纂委員会報告、永田広報次長から

同窓会会報「八軒つうしん」発行報告がありました。

協議として、安達事務局長から活動計画、遠藤会計次長から会計予算について提案がなされ、いずれも多数の拍手により承認されました。その後、遠藤会計次長(役員推薦委員長)から、次期役員について役員推薦委員会での検討結果が報告され、これを受けて菅井会長を始めとした新しい役員が選出されました。



第一部の様子

また、前回に引き続き、同窓会財政強化のため個人及び団体(同期会等)に協力金の呼びか

けを行うことについて、遠藤会計次長から提案があり、了承されました。

吹奏楽・合唱部の  
特別演奏を堪能

第二部以降は、司会が福島かずえ庶務次長と佐藤典郁事務局員(第四十二回生)に代わり、まず第二部は、特別演奏ということで、菅原悠(はるか)先生率いる八軒中学校吹奏楽・合唱部の美しい歌声にしばし聞きほれました。

第三部・懇親会では、遠藤榮相談役(第四代会長)が乾杯の音頭を取り、八谷和子さん(監事・第十二回生)は日本舞踊を披露してくださいました。八谷さんには、猪又隆広事務局員(第五十二回生)から感謝の花束が手渡されました。

八軒中学校合唱コンクールと恩師の佐々木八郎先生が編集してくださいました前回総会の映像が交互に流れる中、参加人数の多い第十一、十三回生を中心に盛り上がりました。



吹奏楽・合唱部の演奏

最後に校歌を斉唱し、恒例となつた遠藤会計次長のリードによるエールで締めました。

## 当番学年の発掘が急務

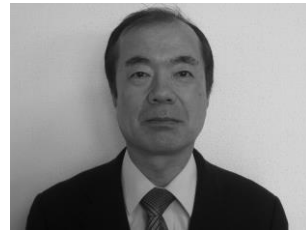
全体で九十四名の参加がありました。今回の総会の当番学年とした第二十、二十二回生が少なかったことは残念でした。二年後の総会では、第二十二、二十四回生が当番学年となります。該当者の発掘が急務です。

一方で事務局員として若手が活躍してくれたことは喜ばしく、裾野の広がりを期待したいところです。

### 八軒中「同窓会総会」 に想う

仙台市立八軒中学校

校長 小松 尚哉



昨年六月二十九日(土)に二年に一度の八軒中同窓会総会が仙台駅東側「レオパレ

ス仙台」にて開催されました。皆様ご存じのように、本校は、昭和二十二年に新制「仙台市立第十一中学校」として創立され、さらに昭和二十五年に「仙台市立八軒中学校」の改名を経て以来、六十七年の歴史を持ち、旧制(仙台市立八軒小路高等小学校)の時代を含めると七十八年という輝かしい伝統を持っています。

さらには、平成二十五年三月現在、二万六千四百二十六名の卒業生を数えております。私も初めて、この総会にお招きいた

だき、大変光栄に思っております。参加された九十四名の同窓生の方々お一人お一人が八軒中を愛し、懐かしむお話を聞ききして改めて感慨深いものを感じさせられました。参加者には、旧制の時代の卒業生も元気で参加されておられ、この総会の重み知らされたような気がしません。

会は、総会から始まり、吹奏楽・合唱部の記念演奏、その後懇親会と進みました。懇親会では、私も各テーブルを回り、各期の方々と親しくお話しさせていただく機会がありました。ここまでは、同窓生皆様の中学時代の思い出が多く聞かれ、学校の周りが畑や田んぼで囲まれていた時代のこと、音楽堂があった時代のことや校舎が火災の被害にあったことなど様々な年代での出来事を聞かせていただきました。そこからは、在学当時、学校や地域の方々それぞれ乗り越えてきた歴史を垣間見る気がしました。また、毎年のように同級会を開催している年

代の方々とか、年の区切りに声を掛け合って同級会を行っている年代の方々などの話題もお聞きかせいただき、お互い長い期間交友を温められていることをうらやましく感じた次第でした。

私が八軒中に赴任した当時、校長室に一九七七年の創立四十二・三十周年記念誌があるのを見つけて読んだことをふと思い出しました。そのとき何気なくその表紙を開くと、旧制の仙台市立八軒小路高等小学校の校歌があるのに気づきました。この歌は、作詞が「学友会」、作曲が「海鋒義美」氏でした。その歌詞の一番から三番までの最後にすべて「団結は力ぞ清く正しく」という言葉がありました。この言葉をふと思い出し、この同窓会の皆さんが「団結は力ぞ清く正しく」をまさに実践され、この会を支えているという実感が湧いたような気がしました。

本当にありがとうございます。最後にりましたがとうございませぬ。最後のになりましたが、この会のみますの発展と、同窓生の団結が深まること、そして皆様の御健康を御祈念申し上げ、総会の感想とさせていただきます。

#### 二次会は同期会

総会終了後、第十一、十二、十三回生は恒例の二次会(同期会)を開催しました。これも恒例で先輩の同期会に混ぜていただいた若手もいました。



第13回生の二次会の様子

委員会の動き

「私の八軒時代」

編集委員会

副会長・委員長

佐藤 徳子

昨年六月二十九日、平成二十五年同窓会総会に合わせ、「私の八軒時代」第二集を発刊しました。特集として「東日本大震災 あの時、その後」を企画し、同窓生の皆様より貴重な体験談を寄せていただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

まもなく三回目の三・一一が巡ってきますが、まだまだ復興の手応えは感じられず、被災者の方々は不安で切ない日々を過ごしているようです。一日も早く有効な対策が取られることを望むものです。

さて、二年に一度の冊子の発刊を目標に編集委員会も頑張っておりますが、財政的に厳しいため今後の発刊方法を検討中です。

より多くの同窓生の参加協力

を得て交流を図り、輪を広げ、同窓会活動を徐々に次世代へとつなげていく。「私の八軒時代」は、その一助となるものと考えます。

そこで、同窓生の皆様には一層のご寄稿と冊子のご購入、販売をよろしくお願いいたします。

日本でのオリンピック開催は六年後ですが、その前に八軒中は新制七十周年を迎えます。この流れを大切に、我が母校の発展を願い、私達同窓会も盛り上がっていきましょう。ご支援よろしくお願いいたします。

ご寄稿

① 手書きの場合(郵送)

〒九八四-〇八一四 仙台市

若林区南染師町二〇-一〇五

直野 まり あて

※郵送料はご負担ください。

② テキスト又はワード(電子ファイル) 若しくはメール

ルベタ打ちの場合(メール)

naonomari@h9.dion.ne.jp

③ 写真がありましたら、お

貸してください。可能な限り

電子ファイル化してご提供ください。

④ お問い合わせは、直野まで。

〇九〇-九三八六-一七四六

ご購入(第一集、第二集とも)

① 郵送ご希望の場合

ア 送料込みで一冊五百円

以上の厚志

イ 代金支払いは郵便振替

(青色の用紙でお願いいたします。手数料はご負担ください)

郵便振替口座

18170-40560541

加入者名

「私の八軒時代」編集委員会

佐藤 徳子

② 電話申込先

〇二二-二二三-三四三五

委員会

佐藤 徳子

〇二二-二二三-三四三五



※ 「生徒の生活環境を考える」委員会については、昨年の総会以降目立った活動はありません。今後、そのあり方について執行部で検討していく予定です。

歓迎！新しい仲間

平成二十四年度(第六十六回)仙台市立八軒中同窓会入会式が平成二十五年三月八日に行われ、男子七十六名、女子八十三名の計百五十九名を新たに同窓生として迎えました。

先輩の講話として、第十八回生の千葉健さん(千葉神経科内科クリニック院長)に、「三年間共に過ごした仲間や先生方は皆の生涯の財産です。これからの人生はたとえめげたととしても、何時も独りではないことを忘れないでいてください。」とお話していただきました。

講話の詳細は、「私の八軒時代」第二集の十六、十七頁に掲載されています。

同期が集えば (一)

第十一回生 (昭和三十三年卒)

七十二歳は元気です  
十一回生は昭和三十三年三月



に卒業  
しまし  
た。昨年  
国民栄  
誉賞を  
受けた  
長島茂  
雄選手  
が立教  
大学か  
ら巨人  
軍に入団した年です。卒業して  
半世紀以上になります。この学  
年は今年七回目の干支を迎えま  
したが、卒業しても結構同期生  
同志の交流があり、いろいろな  
分野で活躍している方が大勢お  
ります。

男性では仙台味噌社長で食品  
の部でモンドセレクション受賞  
の遠藤勝之君、新井川内科の名  
医、新井川勝久君、昭和二十九  
年、全日本大学卓球選手権男子  
ダブルスで優勝した赤間和彦君

(彼は今、名門慶応大学中等部  
で卓球を指導中です)、NHK俳  
句王国で入選の有馬邦昭君。東  
北大学男性合唱団のOB会で活  
躍の横澤道夫君。

女性では河北工芸展や埼玉県  
の美術展で毎年染色の部で入賞  
している長谷部節子さん、それ  
に邦楽で長唄の巨匠松崎流の代  
表の松崎梅佳(本名：下平和子)  
さんはNHKのFM放送で大活  
躍しています。佐々木邦枝さん  
は小原流の華道の資格指導者で  
二十五年間優秀賞を受賞しまし  
た。また三浦頼子さんは日本舞  
踊を指導しています。

十一回生は三年に一回同期会  
があり今年が開催の年です。同  
期会以外にも毎年クラス会を盛  
大に開催している二つのクラス  
があります。またクラスは違ふ  
有志の交流もあり年に一回旅行  
をしております。

昨年は北海道に行ってきました  
た。在京の人は羽田から在仙の  
人は仙台空港から、また福岡か  
ら飛び立った参加者もいて札幌  
で二十二名が合流しました。そ  
の夜は札幌在住の井上芙美子さ

んの息子さんがオーナーの《串  
ぼうず》で宴会を。近況を語り  
合い札幌ならではの料理を舌鼓  
して、いや美味しかったです。

翌日は小樽市内観光をミニボ  
ンネットバスで貴賓館の青山邸  
などを見学して感激です。札幌  
では羊ヶ丘展望台や大倉山シャ  
ンテを観光しました。展望台か  
ら急傾斜の滑走路を見て絶句。

ソチオリンピック四位入賞の高  
梨沙羅ちゃんがここから時速六  
十kmで滑り降りてそしてジャン  
プするとは改めて彼女の勇気と  
跳躍がすごいと実感しました。

愉快に楽しく交流と親睦がで  
きた二泊三日の旅行でした。毎  
年一回のこの旅行、今年はどこ  
へ行くのか楽しみです。  
この原稿を書いていた時に突  
然の訃報が入りました。私の三  
年の時のクラス担任だった村田  
梅子先生が自宅の火災(二月十  
六日)で焼死されたのです。ご  
冥福をお祈り致します。

(加茂 昭六郎)

第二十二回生 (昭和四十四年卒)

平成二十五年四月二十日、河

原町のつきだてやにおいて、同  
期の親睦会を卒業以来初めて開  
催しました。

私どもの同期は大半が昨年還  
暦を迎え、また震災からも二年  
が経過し、タイムिंग的にも良  
いのではないかと考え、東京地  
区の仲間数名とともに今回の幹  
事を勝手に引き受け実施したも  
のです。

九クラス約四百名いた同期の  
うち、物故者を含め消息が判明  
した人が約八十名、そのうち四  
十名が参加しました。今後も継  
続して消息把握に努めるつもり  
です。できれ



(鈴木 裕行)

ば当時の先  
生方の安否  
が知りたい  
と思ってお  
ります。も  
しお分かり  
でしたら、ど  
なたかお知  
らせいただ  
けるとあり  
がたいです。

同窓会担当です！

よんごんおむねがっこうおす

一学年主任 菅原 徹

昨年の夏休みに一本の電話がありました。新任時代に過ごした中学校の同窓会の誘いでした。当日は、北海道から九州まで日本全国から五十名近くが集まりました。当時の思い出や近況を語り合い、楽しい一時を過ごしました。時が経つにつれ、大人のはずの教え子たちが昔の顔に戻っていき、不思議な感覚になったのを覚えていきます。

四月に八軒中に赴任し、四年ぶりに学校現場に復帰することになりました。四年間仙台市科学館に勤めていましたので、赴任当時は学校生活のリズムの速さに戸惑うことがよくありました。一年が経とうとし、ようやく慣れてきたように感じます。授業や部活動に熱心に取り組む生徒の姿、合唱祭や文化発表会で盛り上がる生徒の姿を見る度に、やはり「学校はいいものだ

なあ」と、実感しています。

先日社会貢献をテーマに「伝説のジャンプ」という道徳の授業がありました。震災で物流が途絶えた最中、「子供たちに読ませてあげて」と「塩川書店」に届いた最新号のジャンプが、子供たちに夢と希望を与えたという実話をもとにしたものでした。店主の「塩川祐一」さんは、八軒中の同窓生でした。「実話」そして、「八軒中OB」ということで、生徒たちの反応もいつもと違うものがありました。

今年も百四十五人の卒業生が同窓生となります。これからも、同窓生の先輩方には、後輩への温かいご声援やご支援をぜひお願いしたいと思います。



地域清掃

在校生の活躍ぶり

《運動部》

第三十九回

仙台市中学校春季野球大会

二位

第六十二回

仙台市中学校総合体育大会

① 剣道

男子 団体

二位

男子 個人

一位

② バレーボール

女子

一位

③ ソフトテニス

男子 団体

三位

男子 個人

五位

女子 個人

五位

④ 陸上

男子 一年百M

六位

砲丸投げ

三位

⑤ 水泳

女子 二百M平泳ぎ

五位

百M平泳ぎ

五位

第六十二回

宮城県中学校総合体育大会

① 水泳

女子 二百M背泳ぎ

七位

百M平泳ぎ

七位

《文化部》

① 吹奏楽

・第四十七回アンサンブルコンテスト  
仙台若林地区大会

打楽器五重奏 金賞

金管八重奏 金賞

サククス三重奏 金賞

クラリネット四重奏 金賞

② 合唱

・第八十回NHK全国学校音楽コンクール

宮城県大会 金賞

東北大会 銅賞

・第六十五回全日本合唱コンクール

宮城県大会 金賞

東北大会 銀賞

《その他》

・第五十一回宮城県造形教育作品展 入選

・第四十四回仙台市中学校生徒地図作品展

主題図 銀賞

地利用図 銅賞

・第三十回宮城県中学校放送コンテスト

朗読部門 銅賞

奨励賞

・第四十八回仙台市八木山動物  
公園写生大会

仙台市長賞、佳作

・全国書画展覧会

画の部 金賞

書の部 金賞、銀賞、銅賞

《主な学校行事》

・三年修学旅行

東京・横浜・鎌倉方面

五月十六日～十八日

・二年野外活動 秋田・岩手

五月二十七日～二十九日

・一年校外学習 山形

五月二十八日

・陸上カーニバル 七月四日

・文化発表会 九月一日

・校内合唱祭(イズミティ21)

十月二十九日

・同窓会入会式 三月七日



わかば学級制作の  
ペットボトルキャップアート

同期が集えば(二)

第六回生(昭和二十八年卒)

喜寿のお祝い

昨年十一月二十五日、仙台市  
太白区秋保温泉・伝承の宿「佐  
勘」において男性二十九名、女  
性二十四名の参加のもと、それ  
に恩師・菅原昭二先生をお招き  
して、前回同期会から三年ぶり  
に集いました。にぎやかに懐か  
しい顔ぶれが揃いました。

冒頭、下郡山さん、早坂健さ  
ん等の司会進行のもと、代表・  
高橋靖一さんの挨拶がありました。  
また、宴会を始める前に例  
によって参加者全員の集合写真  
を撮影しました。

宴会では、只木純子さん(旧  
姓・加藤)、渡辺礼子さん(旧  
姓・菊地)の交互の司会進行で、  
語り、飲みながら、カラオケ等  
もあり、時間の過ぎるのをわす  
れるほど、和気藹々楽しく過ご  
しました。

会の終わりには八軒中の校歌  
を皆で斉唱し、再会を誓い散会  
しました。

(S・S)

第十二回生(昭和三十四年卒)



八軒中昭和34年卒業生「古希を祝う会」H25.9.11 於 作並温泉 ホテル グリーン グリーン

我々、十二回卒業生は七十歳  
を迎えるにあたり、同期生の「古  
希の会」を開催しては、との多  
くの声により実行することとな  
りました。

有志による事務局、更に各ク  
ラス代表者によって話し合わせ、  
平成二十五年九月十一日～十二  
日に「古希を祝う会」を作並温  
泉「ホテルグリーングリーン」  
にて一泊で開催しました。

参加者は六十三名で北は青森  
県、南は愛知県からの参加でし  
た。送迎バス集合場所の仙台駅

前では、予定時間よりかなり前  
から集まった同期生達が、早速、  
中学時代の面影を確認し合いな  
がら、無事を喜び合う姿がそこ  
ここに見られました。

冒頭に、東日本震災で亡く  
なられた方々を含めた物故者に  
対して黙祷を奉げ、祝宴は始め  
られ、お互いに旧交を温めるこ  
とができました。「古希の会」  
にふさわしい「さんさ時雨」の  
余興も出て、予定の時間はあつ  
という間に過ぎてしまいました。  
最後に校歌を斉唱し、祝宴は終  
了となりました。

その後、ホテル内のレストラ  
ンで二次会が行われ、自慢の喉  
を披露するひと、クラスごとに  
写真を撮るグループ、昔話に花  
を咲かせるひとなど、有意義な  
ひと時でした。

翌朝、早速配られた宴会時の  
記念写真を話題に、お互いの今  
後の健勝を約束し、散会となり  
ました。

(田中 勝彦)

## 同期が集えば(二)

## 第十七回生(昭和三十九年卒)

六回を重ねた我が「四ツ葉三九会」はほとんどのメンバーが六十五歳の豊年デビューということで初の一泊二日の泊りがけの同期会を企画しました。平成二十五年九月三十日(日)、十月一日(月)秋保グランドホテルにて開催、恩師の今立先生、笠原先生にご出席いただき参加人数は二十八名でした。

当日は午後五時より会議室にて、小野寺幹雄会長の挨拶、今立、笠原両恩師よりの祝辞をいただき総会より開始しました。平成二十五年度よりそれまでの協力を年会費として徴収することとなり、より大事な総会となりました。

引き続き特別企画としてわたしたちと同期の真田徹君(現在、東京在住)による「仙台真田の歴史を聞く」と題して講演をしてもら



第6回「四ツ葉三九会」記念写真  
2013年9月29日(日) 秋保グランドホテル

いました。彼は南材小学校南門のすぐそばに居住していて小中高と一緒だった私も殿様の末裔とは知りませんでした。実は真田幸村から十四代目の子孫と云うことで大坂夏の陣で没する直前に敵将である伊達家片倉小十郎に託され、隠密裏に白石で養育された真田大八の子孫なりとして最近の戦国時代物の雑誌にも掲載されているのを見ました。

二十分の講演予定がプロジェクトの資料説明付きで終わるはずもなく約三十分の延長で参加者一同喉の渇きを我慢しつつ興味深く聞き入った次第です。

大宴会場へ席替えをし、恒例の集合写真撮影、乾杯ののち、スピーチあり、歌あり、踊りありと一泊ならではのエンドレスのあつと云う間のひと時を無事過ぎすことができました。

後日談、月末という日程の悪さもあり、参加者が少なかつたのは残念でしたが、めげずに幹

事一同来年も頑張ろうと忘年会を兼ねた幹事会でまた盛り上がった次第です。(飯坂 隆二)

## 第十八回生(昭和四十年卒)

還暦を迎えた次年度に「還暦を祝う会」を開催してから三年がたちました。今回は、五回目の同期会です。五月二十五日、サンプラザ仙台において、約九十名が集いました。小川、影山、佐々木光子、佐々木八郎、村山、各先生方にもご出席いただき、当時の貴重な話や人生の先輩としての前向きな話を伺うことができました。

久しぶりの再会を喜びあい、名札を見て「あー〇〇さん? 中学の面影あるネ。」と中学生の気分に戻ったようです。アトラクションで「少年時代」を大合唱すれば宴も絶好調。話も弾み、お酒もすすみ、あつという間に同期会は終了しました。同会場での二次会にも六十人が参加して思ひ出話に花を咲かせました。在校生の活躍を後押ししたいと、会場で寄付を呼びかけたところ、多くの方々からご厚意を

いただきました。「明日という日が」のCD、「私の八軒時代第一集」も協力いただきました。当時十二クラスの卒業生は六百名。情報が分かっている方は半数ほどですが、四クラス毎持ち回りで当番幹事になって同期会開催の準備をしています。今年度は二度目の「東京五輪」決定の年となりましたが、卒業年度も「東京五輪」の開催の年でした。高度経済成長下で無我夢中で生きてきた団塊の世代だからこそ、エネルギーがあり、繋がりが強いのだと思います。何歳になっても、仲間はいいものです。今回お集まりいただいた皆様に、心より感謝いたします。

(小石川 千恵子)

八軒つうしん第九号

発行日

平成二十六(二〇一四)年

三月一日発行

発行者 八軒中同窓会事務局

〒九八四一〇八二七

仙台市若林区南小泉

字八軒小路九一

仙台市立八軒中学校校付